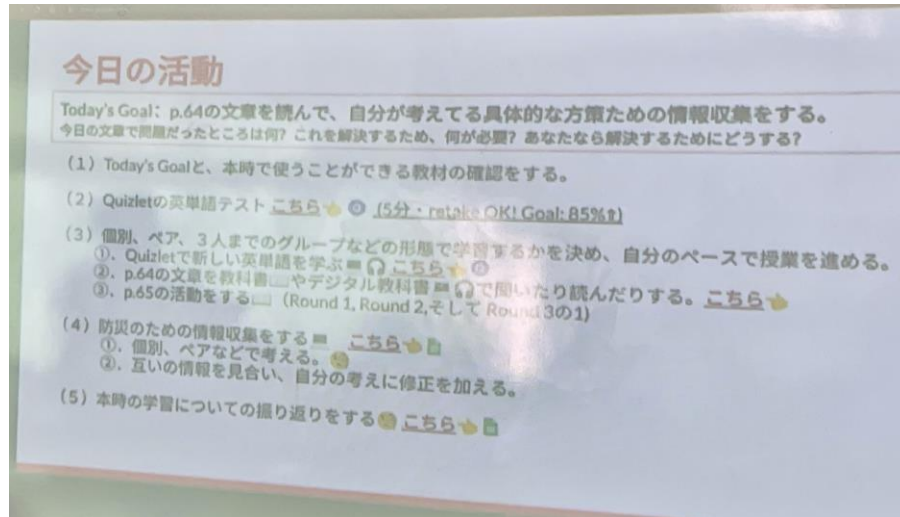


【取組内容①】 教育DX推進による子ども主体の授業～自ら課題を設定し解決する授業への転換！～

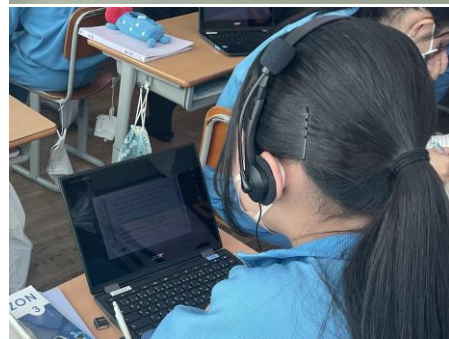
【英語】 自分が考えている防災対策の具体的な方策作成に向けて、英語の教科書の文章を読み情報収集を行う

Googleクラスルームで本時の追究方法を示し、生徒がクラウドでいつでも確認できるようにする。

生徒は、Googleスプレッドシートに、収集した情報を個々に入力し、お互いに参照できるようにする。



| p.59の情報収集   | p.60の情報収集  | p.62の情報収集   |
|---|--|---|
| 特に、どのくらい飲料と水を備蓄するべきか知られていない。英語や他の言語にも対応した看板を作るべきか。どこに避難所があるかわかっていない   | 非常用の飲料と水を入れたバッグを置いておく<br>災害が起きたときにどこへ避難するかを家賃と話し合せて決めておく | 地震が起きたときにどうやってどこへ避難すればいいかわかっていない<br>駅で地震が起きたときにアナウンスとネットの情報が全て日本語でわからなかった<br>→英語のアナウンスや情報も出す  |
| 箕輪町の真中に焦点を置く。<br>避難所の確認はしなかった。<br>マップ作るの場所を画いた物を作る。<br>備蓄しなきゃいけない水と食料の量をそろえなければならない。<br>調べてまとめる<br>大災害のときに呼ぶ番号を知らなければならない。<br>日本なら119<br>消化器の使い方をしらなかつた。<br>わかりやすい使い方の説明を作る。                        |  | 外国人は地震が起こった際にどうすればいいのかを日本語で説明されるので、分らずパニックになる。<br>駅で地震が起こった際もアナウンスは日本語で説明されるため伝わらないし、インターネットで地震の最新情報を調べても日本語だけでわからない。<br>英語で説明できる何かがあればならない。<br>急なバスでの移動の情報も伝えられるように、随時必要に<br>英語で情報を伝えられるものが必要だと思う。 |
| 避難場所がわからない外国人が多いため、どこに避難したら良いかわかりやすく伝える。<br>どのくらい飲料などを用意すればいいのかわからない人が多い  | もしも災害が起こったときの対策として食料や水などを準備すること防災セットを準備する。               | 日本在住のバングラデシュ人。地震が起きたときにどこに避難すればいいのかわからない。   |
| 箕輪町の真中に焦点を置く。<br>避難所の確認はしなかった。<br>マップ作るの場所を画いた物を作る。<br>備蓄しなきゃいけない水と食料の量をそろえなければならない。<br>調べてまとめる<br>大災害のときに呼ぶ番号を知らなければならない。<br>日本なら119<br>消化器の使い方をしらなかつた。<br>わかりやすい使い方の説明を作る。<br>多くの外国人が災害時の対応がわからない | 防災セットを作る   | 外国人は地震が起こった際にどうすればいいのかを日本語で説明されるので、分らずパニックになる。<br>駅で地震が起こった際もアナウンスは日本語で説明されるため伝わらないし、インターネットで地震の最新情報を調べても日本語だけでわからない。<br>英語で説明できる何かがあればならない。<br>急なバスでの移動の情報も伝えられるように、随時必要に<br>英語で情報を伝えられるものが必要だと思う。 |



デジタル教科書を使って音声を聞いたり、必要に応じて友達と教科書の内容を読み進めながら、自分の考えている防災対策の具体的な方策に向けて、英語の教科書から情報収集を行う。

Googleスプレッドシートに収集した情報を入力していく。前時までに自分が収集した情報や、友達の収集した情報を参照しながら、自分の考えている防災対策の具体的な方策を考えていく。